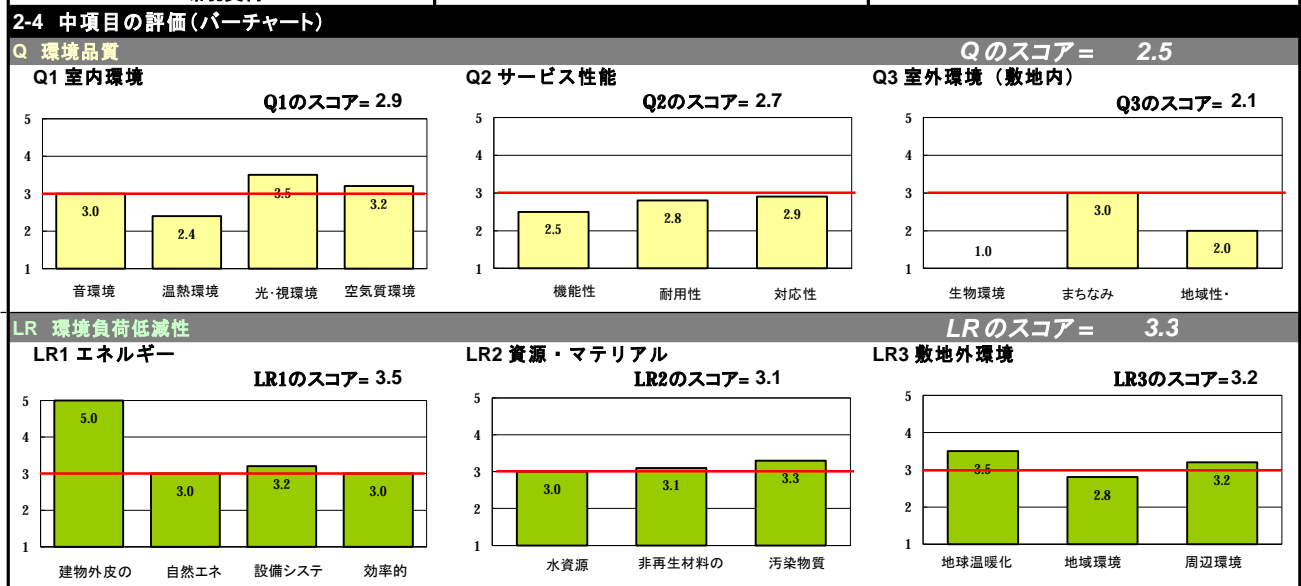
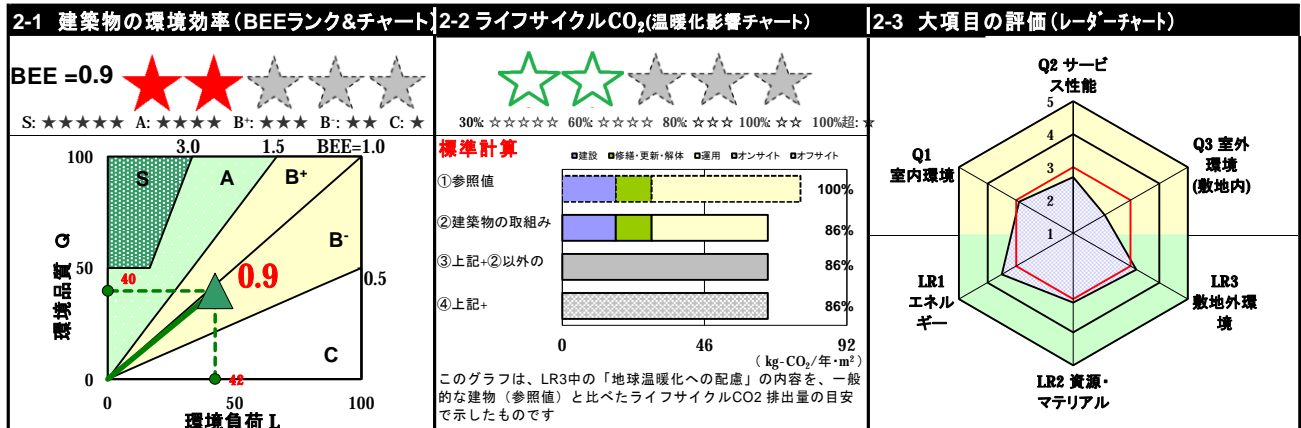


# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社 丸新様 新工場新築工事	階数	地上2F
建設地	大阪府岸和田市東大路町	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	145 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年3月 予定	評価の実施日	2025年3月6日
敷地面積	3,406 m <sup>2</sup>	作成者	勢旗 隆行
建築面積	1,535 m <sup>2</sup>	確認日	2025年12月18日
延床面積	2,226 m <sup>2</sup>	確認者	新谷幸司



3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		<b>その他</b> 特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 2.5% ≤ [屋光率] 照度が500lx以上1000lx未満。 JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。 自然換気有効開口面積が居室床面積の1/30以上。	<b>Q2 サービス性能</b> 排水VP(B)、消火SGP(白)(C)、冷媒管(C)、Eは不使用。 0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3 配管内配線により構造材・仕上材を痛めずに更新・修繕ができる。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 特になし。
<b>LR1 エネルギー</b> BPI <sub>m</sub> =0.65。 BEI <sub>m</sub> =0.78。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> LGSを使用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率が86%。 光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの項目の過半を満たす。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		株式会社 丸新様 新工場新築工事								
建設地		大阪府岸和田市東大路町								
用途／区分		工場 事務所								
【評価結果】	CASBEE 総合評価							B-		
①	CO2削減							4		
②	みどり・ヒート アイランド対策							2		
③	断熱性能							5		
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外						評価対象外	
④	エネルギー消費性能							3		
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外						評価対象外	
		非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分							3	
⑤	自然エネルギー直接利用							—		
	再生可能エネルギー	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—	
	利用施設の導入状況	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—	
エネルギー消費量の報告							報告しない			
【評価項目】										
項目	評価内容						スコア	評価		
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮						3.5	4		
② みどり・ヒートアイランド対策										
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出						1.0	2		
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上						2.0			
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環境 2.2 温熱環境悪化の改善						3.0			
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制						5.0	5		
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化						3.2	3		
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用						3.0	—		
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。						報告する 報告しない	報告しない		
その他										
先進的技術の導入	技術の名称					考慮事項				
特に配慮した事項					ライフサイクルCO2排出率が86%。 BPI <sub>m</sub> =0.65。 BEI <sub>m</sub> =0.78。					